

JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA

日本フィルハーモニー交響楽団

ヘンデルが遺した大傑作にして人類至宝《メサイア》!

第397回名曲コンサート

2022年9月11日(日)

15:00開演 [14:20開場]

サントリーホール

15:00, Sunday, September 11th, 2022, at Suntory Hall

ヘンデル:

オラトリオ《メサイア》

HWV56

Georg Friedrich HÄNDEL:
Messiah, HWV56

＜指揮＞

大井剛史

Conductor:
OOI Takeshi
©K.Miura

＜ソプラノ＞

澤江衣里

Soprano:
SAWAE Eri

＜アルト＞

小川明子

Alto:
OGAWA Akiko

＜テノール＞

櫻田亮

Tenor:
SAKURADA Makoto
©Ribaltaluce

＜バス＞

加藤宏隆

Bass:
KATO Hiroataka

＜チェンバロ、オルガン＞

辰巳美納子

Cembalo, Organ:
TATSUMI Minako
©Masashige Ogata

＜合唱＞ 日本フィルハーモニー協会合唱団

Chorus: Japan Philharmonic Association Choir

©吉田タカユキ

料金 (税込)

好評発売中

S席 7,000円 A席 5,500円 B席 5,000円 C席 4,000円
P席 合唱団 Ys席 (25歳以下) 1,500円 Gs席 (65歳以上) 4,000円

※今後の状況によっては開催できなくなる可能性もございます。開催の可否は当日必ずホームページをご確認の上、ご出発ください。※感染症対策を施し、政府や自治体等のガイドラインに沿って販売いたします。なお、クラシック公演運営推進協議会のガイドラインを守った配席となります。

※Ys席、Gs席は日本フィル・サービスセンター(お電話)でのみ扱います。S席以外から選べます。※未就学児の入場はご遠慮ください。※出演者、曲目等は変更される場合がございます。あらかじめご了承ください。※障害者手帳をお持ちの方は割引がございますので、サービスセンターまでお問い合わせください。*車いすでご来場予定のお客様は、当日のスムーズなご案内のため、チケットご購入後ご購入席番を日本フィル・サービスセンターまでご連絡ください。

主催：公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団

お申込み
お問合せ

日本フィル・サービスセンター TEL (03) 5378-5911 [平日11時~17時] FAX (03) 5378-6161 (24時間)
Webサイト [席を選んでお申込みできます] japanphil.or.jp

チケットぴあ <https://pia.jp/t/japanphil> Pコード: 221-214 e+ [イープラス] <https://eplus.jp/>
ローソンチケット <https://l-tike.com> Lコード: 33263 サントリーホールチケットセンター (0570) 55-0017

人、音楽、自然—日本フィルのテーマです。

JAPAN
PHILHARMONIC
ORCHESTRA

創立指揮者 渡邊 暁雄



ヘンデルが遺した大傑作にして人類の至宝《メサイア》!

18世紀イギリスで華々しい作曲活動を展開したゲオルク・フリードリヒ・ヘンデル(1685~1759)。彼が遺した宗教オラトリオ《メサイア》は2時間半に及ぶ大作にして、今でも世界各地で頻りに演奏される作品です。「救世主」を意味するタイトルを持つこの作品は、親しみやすいメロディの数々と宇宙をも想わせる壮大な世界とが両立した大傑作。まさに人類の至宝と言っても過言ではないでしょう。指揮にはこの作品に深い理解と愛情を寄せる大井剛史を迎え、ソリストには今の日本を代表するバロック音楽のスペシャリストが揃います。この曲で大活躍する合唱には、日本フィルと共に半世紀近くを歩んできた日本フィルハーモニー協会合唱団が出演いたします。

©K.Miura

大井剛史 [指揮] OOI Takeshi, Conductor

東京藝術大学および大学院にて松尾葉子氏に師事、若杉弘、岩城宏之、レヴァイン、マズア、ジェラルド、カラブチェフスキーの各氏から指導を受ける。2007~09年、チェコ・フィルハーモニー管弦楽団にて研修。2009~16年ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉(現・千葉交響楽団) 常任指揮者、2009~13年山形交響楽団指揮者、2013~17年同正指揮者を歴任。現在、東京佼成ウインドオーケストラ正指

揮者。この他、国内各地のオーケストラを指揮し、いずれも高い評価を得ている。新進作曲家の現代作品や、吹奏楽、オペラ、バレエ、など幅広い分野で意欲的に活動している。08年アントニオ・ベドロッティ国際指揮者コンクール第2位。東京藝術大学音楽学部器楽科非常勤講師(吹奏楽)。尚美ミュージックカレッジ専門学校客員教授。



澤江衣里<ソプラノ>

島根県益田市出身。国立音楽大学卒業。東京藝術大学大学院修士課程及び博士課程修了。英国歌曲研究により博士号取得。日本学術振興会より奨学金を得て、ロンドン留学。第79回日本音楽コンクール2位入賞。第11回東京音楽コンクール最高位。声楽を永井和子、佐藤峰子に師事。2006年よりパッサ・コレギウム・ジャパン(BCJ)のアンサンブメンバーとして研鑽を積む。ソリストとして日本フィルハーモニー交響楽団、読売日本交響楽団、BCJと共演。パッサ「ロ短調ミサ曲」、ロド「ウェバー「レクイエム」」など後期バロックから現代まで幅広いレパートリーを持つコンサート歌手として活躍している。島根県ふるさと親善大使・遣島使。澤江衣里オフィシャルウェブサイト<https://www.eri-sawae.com>



小川明子<アルト>

東京藝術大学卒業、同大学院及び文化庁オペラ研修所修了後、ウィーンに留学。これまでに多数のオペラに出演。コンサートでも「第九」の他、「マタイ受難曲」、「メサイア」、モーツァルト、ヴェルディの「レクイエム」、ブルックナー「ミサ曲第3番」、「テ・デウム」、ヤナーチェク「グラゴル・ミサ」等の宗教曲や、マーラー《復活》、《千人の交響曲》、《大地の歌》、《嘆きの歌》等、豊富なレパートリーで聴衆を魅了している。現代音楽のエキスパートとしての信頼も厚く、数々の現代音楽の演奏に携わるとともに、日本歌曲にも力を注いでいる。第61回日本音楽コンクール第2位。第4回日本歌曲コンクール第1位並びに山田耕筰賞受賞。二期会会員



櫻田 亮<テノール>

声楽を故平野忠彦、G.ファッポリーニ、W.マッテウツィ、G.バンディエリ各氏に師事。クレモナ音楽祭(ウリッセの祖国への帰還)をはじめ、モンテヴェルディ《オルフェオ》初演400年には、エディンバラ音楽祭等に出演。殊にバロックから古典派をレパートリーに国際的評価を得ており、パッサ・コレギウム・ジャパンとCD録音やコンサートに参加し、2017年にはモンテヴェルディ《ポッペアの戴冠》公演の成功に寄与した。「マタイ受難曲」、ヘンデル「メサイア」などいずれも高い評価を得ている。第27回イタリア声楽コンクール シェナ部門大賞、2002年ブルージュ国際古楽コンクール第2位(声楽最高位)など受賞多数。東京藝術大学教授。二期会会員 ©Ribaltauce



加藤宏隆<バス>

東京藝術大学卒業後、渡米。ジョンズ・ホプキンス大学ピーボディ音楽院、インディアナ大学ジェイコブズ音楽院にて学ぶ傍ら、数々のオペラ出演をはじめ米国アスペン音楽祭に参加。帰国後も、二期会、日生劇場、東京・春・音楽祭等で、多くのオペラに出演。2021年には東京・春・音楽祭「R.ムーティ introduces 若い音楽家によるマクベス」にてバンコを演じ好評を博す。コンサートでは「第九」をはじめ、ヘンデル「メサイア」、モーツァルトやフォーレの「レクイエム」等のソリストを務める。パッサ・コレギウム・ジャパン(リナルド)ではアルガンテを演じたほか、メンバーとして演奏会や録音に参加する等、宗教音楽の分野でも活躍。二期会会員



辰巳美納子<チェンバロ、オルガン>

東京藝術大学チェンバロ科卒業、同大学院修了。藝大在学中に第5回古楽コンクール最高位入賞。その後、オランダ政府奨学金を得てアムステルダム音楽院に学び、国家演奏家資格を取得し卒業。これまでにNHK-FM、BSIに出演、ソリスト及びチェンバロ、オルガン通奏低音奏者として全国各地の演奏会や録音に多数出演。奇を衒うことなく作品と楽器の魅力を伝える演奏と、自在な表現で全体を支える通奏低音には定評がある。CD『J.S.バッハ:半音階的幻想曲とフーガ、イタリア協奏曲』『J.S.バッハ:パルティータ全曲』『プレスコバルディ鍵盤作品集』『J.S.バッハ:ゴルトベルク変奏曲』は、レコード芸術誌など各方面で高く評価されている。 ©Masashige Ogata



日本フィルハーモニー協会合唱団<合唱>

合唱活動を通じて日本フィルハーモニー交響楽団と共同し、市民によるオーケストラ活動の推進を目的として1973年に創立された。メンバーは様々な年齢、職業の日本フィルハーモニー協会会員によって構成され、オーケストラ付き合唱曲を中心に日本フィルハーモニー交響楽団と数多く共演している。2019年5月には東京定期演奏会に於いて、アレクサンドル・ラザレフ氏の指揮でマスカニー《カヴァレリア・ルスティカーナ》に出演して好評を博した。2021年10月にロッシェニ「スターバト・マーテル」(園田隆一郎指揮)に出演。現在、浅井隆仁、高橋淳、山口浩史が合唱指導を行なっている。 ©吉田タカユキ

感染症対策へのご協力をお願い

【ご来場をお控えいただくお客様】

以下に該当するお客様につきましては、ご来場をお控えいただきますようお願いいたします。特に重症化リスクの高いお客様(高齢者や既往歴のある方)については慎重な対応をお願いいたします。

- 1 平熱と比べて高い発熱がある
- 2 咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚障害、目の痛みや結膜の充血、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気、嘔吐の症状がある
- 3 過去2週間以内に新型コロナウイルス感染症陽性とされた方との濃厚接触がある
- 4 過去2週間以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域への訪問歴、及び当該在住者との濃厚接触がある

【場内での感染症対策】

- 1 入場時にサーモグラフィーカメラで検温を行います。37.5度以上のお客様のご入場はお断りさせていただきます。
- 2 入場時の手指消毒にご協力ください。
- 3 入退場時およびロビー・ホワイエでは必ずお客様同士1mの間隔を確保してください。
- 4 会場内では必ずマスクを着用し、咳エチケットにご協力ください。マスクを着用していないお客様のご入場はご遠慮いただきます。マスクをお持ちでないお客様はスタッフまでお知らせください。
- 5 出演者へのプレゼント(お手紙・お花などを含む)、面会等は、当面の間お断りさせていただきます。出演者の楽屋入り待ち、出待ちにつきましてもご遠慮ください。
- 6 プラボー等の掛け声はご遠慮ください。また、開演前や終演後も極力会話を避けるようご協力をお願いいたします。
- 7 感染防止策の実施のため、屋外にお並びいただく可能性がございます。日傘やお飲み物などのご準備をお願いいたします。
- 8 退場時の密を避けるため、規制退場を実施いたします。皆様のご協力をお願いいたします。
- 9 チケットご購入者と演奏会ご来場者のお名前が異なる場合は、来場される方のご住所、お名前、電話番号を弊団までお知らせください。
- 10 万が一感染者が発生した場合など、必要に応じて保健所等の公的機関へお客様のお名前と連絡先を提供する可能性がございます。

【その他】

- 1 ガイドラインとホールの指導に基づき、一部の席の販売を中止しております。ご不便をおかけいたしますが、ご理解をお願いいたします。
- 2 アルコール類、食べ物、公演グッズ、チケット前売りについてはホールの指導に基づき実施しております。
- 3 スタッフは不織布マスクを着用し接客させていただきます。また、小声での対応となりますことをご了承ください。
- 4 新型コロナウイルス接触アプリ(COCA)、または自治体独自の通知アプリの利用をお勧めいたします。

ダウンロードはこちらから
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa_00138.html



なお、チケットをお持ちのお客様で上記に該当する場合、また重症化リスクの高いお客様が来場を取りやめる場合は、チケット代金の払戻しをさせていただきます。チケットをお手元に準備の上(半券は切らずに保管ください)、日本フィル・サービスセンター(03-5378-5911)へご連絡ください。原則として、公演中止の場合を除き、チケット代金の払い戻しはございません。予めご了承ください。